

PRESS RELEASE

ピースボート災害ボランティアセンター

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

TEL: 03-3363-7967

FAX: 03-3362-6073

MAIL: kyuen@pbv.or.jp

URL: pbv.or.jp/



ピースボート災害ボランティア 石巻・女川活動情報

2012年2月20日

浜の漁師とボランティアが協働。 ピースボートで、牡鹿半島の「漁業体験ボランティア」を始めます。

震災から1年近くが経ち、津波被害を受けた被災地の多くでは、現役世代の人口流出、地場産業の行き詰まりなど、ボランティアによる単純作業だけでは解決できない新しい課題に直面しています。第一次産業の担い手不足や過疎・高齢化といった、震災前から抱えていた地方都市の問題。これからも長期で石巻市、女川町での支援活動を決めたピースボートでは、これらの課題に対する新しい取り組みとして、「漁業体験ボランティア」を始めます。

三陸沖に面する宮城県石巻市牡鹿半島には、漁業が生業の28の浜(集落)が点在しています。津波により、漁港の施設が壊れたり、船や漁具が流されたり、漁業や養殖業は大きな被害を受けました。貯蓄や義捐金、補償での生活はいつまでも続きません。長期的に安定した収入源につながる養殖業の復活を、とピースボートでもこれまで、のべ1万人以上が漁業支援に関わり、牡蠣やワカメ、ホタテの種付けなどをお手伝いしてきました。

普段都市部に暮らす若いボランティアにとっては、これら本格的な漁業に触れるのは初めての経験。第一次産業の現場に触れ、その大切さと苦勞を知るきっかけにもつながっていました。そして、いま養殖の中でも成長の早いワカメが収穫の時期を迎え、浜の漁師さんらから再度、収穫作業のお手伝いの依頼を受けています。

ピースボートでは、収穫作業に加え、漁師の皆さんと議論したり、磯料理の食事を囲みながら真剣に浜の将来を考えるプログラムとして、牡鹿半島での新しい「漁業体験ボランティア」を行います。継続して外からの若者たちが来ることで地元の活性化につながるとともに、若いボランティアにとっても一口オーナー制度に協力することで長期的な支援が可能になったり、移住を含めた東北とのつながりを考える機会にもなると思っています。

■ 2/25,26 実施 石巻市牡鹿半島「漁業体験ボランティア」の概要

【 日 程 】	2月24日(金) 17:30-20:00	事前オリエンテーション(東京・高田馬場マリビル 3F)
	22:00頃	ボランティアバスにて出発(東京・高田馬場シチズンプラザ前)
	2月25日(土) 早朝	石巻市の宿泊場所到着(カスカファッショ)
	午前・午後	ワカメ収穫作業(陸上・船上)、荻浜の歴史や被災状況勉強会
	夜	宿泊(カスカファッショ)
	2月26日(日) 午前・午後	ワカメ収穫作業(陸上・船上)、荻浜を考えるワークショップ
	深夜	復路ボランティアバス出発(カスカファッショ前)
	2月27日(月) 早朝	東京・高田馬場周辺 到着・解散

【 場 所 】 宮城県石巻市牡鹿郡荻浜

【参加条件】 18歳～59歳までの男女、プログラム自己負担金1,000円、ボランティア保険への加入 など

【 その他 】 一口5千円～、県漁協荻浜出張所の牡蠣処理場建設や漁具の購入費などへの協力制度あり

【応募方法】 ホームページ(<http://pbv.or.jp/>)をご覧の上、お電話でご応募ください。

ピースボート災害ボランティアセンター TEL. 03-3363-7967(10時～19時/日祝休み)

「漁業体験ボランティア」は、今後も継続予定。今回は、3/3,4に、小淵浜での実施を考えています。石巻の復興は、震災前の状態に戻すことでは不十分です。2年目に突入する支援活動として、産業再生と地方都市の活性化を視野に入れた新しいボランティアの形だと思っています。ぜひ、後方支援のほど、よろしくお願ひします。

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター

TEL: 03-3363-7967 FAX: 03-3362-6073 E-mail: kyuen@pbv.or.jp